

5月の支出(図書、備品、慶弔、飲食は除く)

29,007円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	14,070円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	8,432円
会場費	600円
通信費(携帯電話)	5,905円
支出計 05/5/3~05/6/3	29,007円
寄付 双々さん、匿名さん1名	11,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
05/6/4

第65号

11000部発行

頒布責任者：武松 忠
武松政策研究会

教科書採択をめぐる動き!?

足柄下1市3町共通から、小田原市単独採択に!

反日デモ等で、歴史教科書が話題となっていますが、現在中学校教科書の採択が行われているので、今までと変更になったポイントを解説します。

■採択区域の変更

採択手順は、右の様に基本的に変わっていませんが、採択地区が、足柄下(1市3町)から、小田原市単独になった関係で、会の名称や構成メンバーが変わっています。今回採択地区に変更があったのは、**小田原地区の追加のみ**です。以下に神奈川県内の採択地区を示します。

神奈川県内教科書採択地区 (採択地区：市区町村名)

横浜第1：鶴見区、横浜第2：神奈川区

横浜第3：西区、横浜第4：中区

横浜第5：南区、横浜第6：港南区

横浜第7：保土ヶ谷区、横浜第8：旭区

横浜第9：磯子区、横浜第10：金沢区

横浜第11：港北区、横浜第12：緑区

横浜第13：青葉区、横浜第14：都筑区

横浜第15：戸塚区、横浜第16：栄区

横浜第17：泉区、横浜第18：瀬谷区

川崎第1：川崎区、川崎第2：幸区・中原区

川崎第3：高津区・宮前区

川崎第4：多摩区・麻生区

横須賀：横須賀市、鎌倉：鎌倉市、藤沢：藤沢市、

茅ヶ崎：茅ヶ崎市、寒川：寒川町、逗子：逗子市、

三浦：三浦市、葉山：葉山町、相模原：相模原市、

大和：大和市、海老名：海老名市、座間：座間市、

綾瀬：綾瀬市、平塚：平塚市、秦野：秦野市、

伊勢原：伊勢原市、中：大磯町・二宮町

足柄上：南足柄市・中井町・大井町・松田町・山北町
開成町

小田原：小田原市

足柄下：箱根町・真鶴町・湯河原町

愛甲：厚木市・愛川町・清川村

津久井：城山町・津久井町・相模湖町・藤野町

単独採択でない市は、厚木と南足柄だけです。

■採択にいたる経過

- ①採択地区協議会
 - ②調査員会
 - ③教科書展示会
 - ④調査員会
 - ⑤採択地区協議会
 - ⑥教科書閲覧
 - ⑦教育委員会定例会
 - ⑧教育委員会協議会
 - ⑨教育委員会臨時会
 - ⑩教育委員会協議会
- 1市3町で実施
- 以下小田原市で実施
- 採択方針の確認・調査研究を協議会へ付託
- 各種目毎に協議、種目毎に1種選定
- 協議結果に基づき協議、採択の決定
- 採択にいたる経過、採択結果、採択理由等の報告

■平成18年度義務教育諸学校使用教科書採択方針

県教委の教科書採択方針では、以前、特定の教科書を採択しないように電話やデモ等により、教育委員に圧力をかけた事例があったことから、(4)に情報公開と静ひつな採択環境を確保する文言が加えられました。

(1)~(3)省略

(4)採択権者は、採択の公正確保に向けて、採択事務の円滑な遂行に支障を来さない範囲で、採択にいたる経過、採択理由などを公開し、開かれた採択に努めるとともに、外部からの不当な働きかけ等により採択が歪められないよう静ひつな採択環境を確保すること。

■教科書採択に関連した要望が寄せられる

現在まで、市教育委員会には、扶桑社の「新しい歴史教科書」を採択しないようにとの要望や、公正公平な採択を求める要望が出されています。

私は日本の教科書制度の素晴らしい所は、検定を通っている教科書に表現の幅があることだと思います。また、幅があることを理解することが大切です。

歴史教育について！

扶桑社の歴史教科書は、良い本だと思います。私は、この市販本をすぐ手の届く所に置いています。特に推薦するつもりはありませんが、歴史教育について感じることを書きます。

小中学生では、教科書はとにかく先生がどう教えるかによって理解が左右されます。先生が「日本がこんなに悪いことをしてきた。」と教えれば子供達

は鵜呑みにします。反日運動が起こっても「日本が悪いから仕方ない」と思うでしょう。このような表面的な捉え方だと、もし日本にテロでも起きれば、とたんに世論がひっくり返ってしまいます。

歴史教育は、表面的な事象も必要ですが、国際的にどの様に追い込まれてきたのか、そのプロセスが大切なのです。また情報を多面的に捉える能力も養わなければなりません。

国際的にどう対応すれば、戦争を防げるのか？家庭でもプロセスを話せるようにしたいものです。

The Voice 今までに頂いたご意見から

お城通り地区再開発事業市民説明会に参加して 60代 男性

昨日、市民会館で行われたお城通り地区再開発事業説明会については、説明会がまともに行われるような状況では有りませんでした。反対者のための反対集会になったような感じがしました。担当者も説明会の進行に苦慮したものと思いますが、いまいし説明会の内容に工夫が必要と思いました。参加者100名位ですがその内の97パーセント位の人が反対者の方々にように思いました。

城山3丁目マンションとお城通り地区再開発事業説明会について 60代 男性

前略、再開発説明会においてもマンションについての意見を述べる方がいましたが、今回の説明会の趣旨が全然分かっていないように感じました。小田原と言うところは何でもかんでも自分の意に沿わないものは反対のような気がします。反対するのであれば代案を提起すべきです。市民の中には何であのマンション用地取得のためにの7億円余の公金を出金しなければならないが疑問を抱いている方もいます。市内を見渡す眺望であれば再開発ビルの最上階からの眺めで十分ではないでしょうか。また、再開発ビルもショッピングモール、ホテル、賃貸マンションの3点セットではなく、現在計画中の城下町ホールをも取り込んだビルにして市民の思いと市民の財産を生かしていけるならば、反対される方も少ないものと思います。

1. 再開発ビルの賃貸マンションについては、ここに常時住む方は、全体の3割にも満たないと思います。ですから市街地活性化には余り寄与する事はないと思います。何故ならば、お濠端に出来たマンションで、実質ここで生活されている方は少ないと聞いています。再開発ビルは市街地活性化が目的です。よって三の丸に計画されている城下町ホール計画地は、商業施設用地として、銀行、生保、労働基準監督署、社会保険庁等の落ち着いた官庁出先機関ならびに商業施設の誘致に努めて、かつて賑わいを見せた日中時の人口増加の状況に持っていく必要がある。そのためにも税収のあがる土地をいつまでも公有地として寝かせずに早期に処分して市財政の健全化を図り都市整備を進めるべきものと思います。

2. 再開発用地も初期の目的からだいぶ変わっています。当初は駅前の交通渋滞緩和を計る目的で国鉄清算事業団から土地を取得し、小田原駅をお城寄りに移動し緑町の交差点から直線の駅前道路を新設して市街地再開発を計る計画ではなかったかと思います。

武松政策研究会 月例勉強会のお知らせ

日 時：6/25（土）18時～20時 場 所：市民会館5階 第2会議室

テーマ：「（仮）城下町ホール基本構想について」

公開された基本構想を見ながらディスカッションします。

参加費：100円 終了後、実費で懇親会を行います。



ホームページでは、日刊武松（日記）や、月刊武松のバックナンバー、一般質問の会議録も見ることができます。**YAHOO!**で「武松忠」または、「たけまつただし」と入力すると検索できます。

URL <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/>

i-mode <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/i.htm>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで
月刊武松は本人とボランティアが配布しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、eメールでも送付していますので連絡下さい。